

日 仏 獣 医 学 会

1 学会名：日仏獣医学会
(Société Franco-Japonaise des Sciences Vétérinaires)

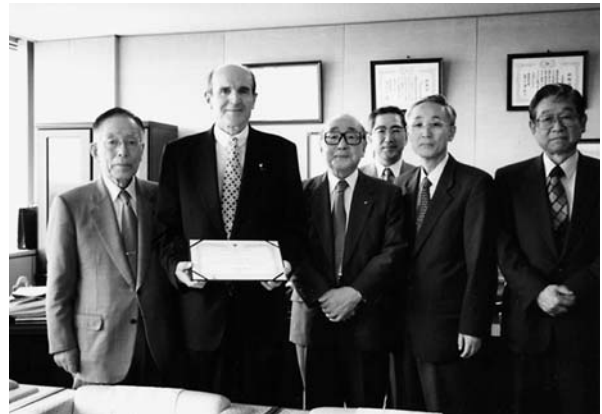
2 事務局所在地：
〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8
国立大学法人 東京農工大学農学府
農学部獣医学科獣医伝染病学研究室
TEL・FAX 042-367-5780
E-mail jshira@cc.tuat.ac.jp (白井淳資)

3 目的：
本会は日仏獣医学の交流を促進し両国の学術を進展させることを目的とする。

4 組織：
会 長 長谷川篤彦
役 員 幹 事 17名
 監 事 2名
会 員 数 正 会 員 91名
 賛助会員 7社
仏側会長 シャルル・ピレ
(日本獣医師会第1号名誉会員(2001年授与))

5 沿革：
我が国の獣医学は1874年、フランス陸軍のAugust D. ANGOT 獣医中尉の来日により日仏の獣医学分野における交流の第一歩を踏み出した。その後、ANGOT中尉は、東京の陸軍獣医学校において6年間にわたって教育に携わった。本会は、我が国獣医界とフランス獣医界との間に学術交流を目的に、公益財団法人 日仏会館に認められた学会（現在27学会）として、1989年6月30日に発足した。

6 活動内容と特色：
本会は、1990年（平成2年）より毎年会誌を発行しており、平成24年には第23巻を発刊している。会誌の内容は、原著、総説、留学記や訪問記または感想



ピレ教授日本獣医師会第1号名誉会員授与式記念写真

談話のコラムなどからなり、特に原著は英文か仏文、総説はできるだけ日仏文の併記で刊行するようにしている。本会誌は会員のほか、国会図書館、日仏会館図書室、全国の獣医学系大学図書館に配布しており、フランスへは4つの国立獣医大学（リヨン、アルフォー、トゥールーズ、ナント）の教官、国立獣医学研究機関の研究者、開業獣医師の方々など、約100部を送付している。なお、2009年第20巻特別号はピレ教授の「L'ANIMAL MEDECIN」を翻訳した「動物と医学」を発刊した。本書は獣医学を抜きにして人の医学の進歩は考えられず、解剖、生理、免疫、感染症、毒性など医学のあらゆる分野において動物実験が先行し、医学の発展を支えてきたとの観点から纏められた書を上梓された。本書は獣医学及び医学研究の歴史を背景にして記述されており、広く我が国の獣医師の方々に読んでいただくために特別配布を行っている。

本会は、毎年総会と研究例会を開催し、優秀な若手研究発表者には学会長の奨励賞を設けている。本会の特色として、日本とフランスで交互に日仏獣医セミナーを開催し、また適時招聘講演会を開催し学術交流活動を活発に行っている。なお、本年は第12回日仏獣医セミナーを日本で開催する予定である。

7 文責者：池田忠生（総務幹事）